

「支える」 & 「育てる」

たかた子どもサポート（素案）

陸前高田市教育委員会・陸前高田市福祉部

子どもの実態

- ▶ 小中学校において、学習面、又は、行動面で
著しい困難を示す児童生徒の割合 (H24年度全国調査)

6.5%

ということは、

1クラス30人とすれば、**クラスに2人。**

「支える」 - キーワード

早期発見
早期支援

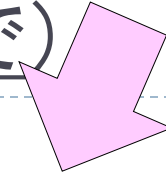
相談体制

安心

つなぐ

スムーズな移行

「支える」 - めざすこと(3歳～小3まで)



▶ 発達障がい等を有する子どもの

① 早期発見

② 早期支援

その子に合った支援を早期から
(特性を伸ばす)

▶ 相談体制の構築

① 保護者

② 保育士・教員

保護者の安心感
指導者の見通し

▶ つなぐ

① 専門機関

② 医療

専門的見地からの診断
(支援方法が見える)

▶ 学校へのスムーズな移行

小1Problem軽減

「支える」 - これまでの体制

＜福祉部＞

- ・放課後デイサービス(小・中)
- ・子育て支援センター
- ・児童支援発達センター
- ・健診

ふれあい教室(希望者)

◆保育所訪問:就学前年度(年1回) ふ・支・指

◆就学説明会:対象・ふれあい保護者(年1回)

◆就学相談窓口:指導主事対応

＜教育委員会＞

- ・就学支援委員会
- ・就学相談窓口設置
- ・支援員配置

「支える」 - めざす体制

- ◆ 全保・全小1を巡回訪問
 - ・ 子どもの実態把握
 - ・ 支援方法の保育士・教員支援
 - ・ 保護者相談 → つなぐ
 - ・ 情報共有(福祉・教育) 等

<福祉部>

- ・ 放課後デイサービス
- ・ 子育て支援センター
- ・ 児童支援発達センター
- ・ 健診

ふれあい教室(希望者)

◆ 保育所訪問: 就学前年度(年1回) ふ・支・指

◆ 就学説明会: 対象・ふれあい保護者(年1回)

◆ 就学相談窓口: 指導主事対応

巡回支援相談員 配置

(コーディネート機能も)

月例
チーム会議

<教育委員会>

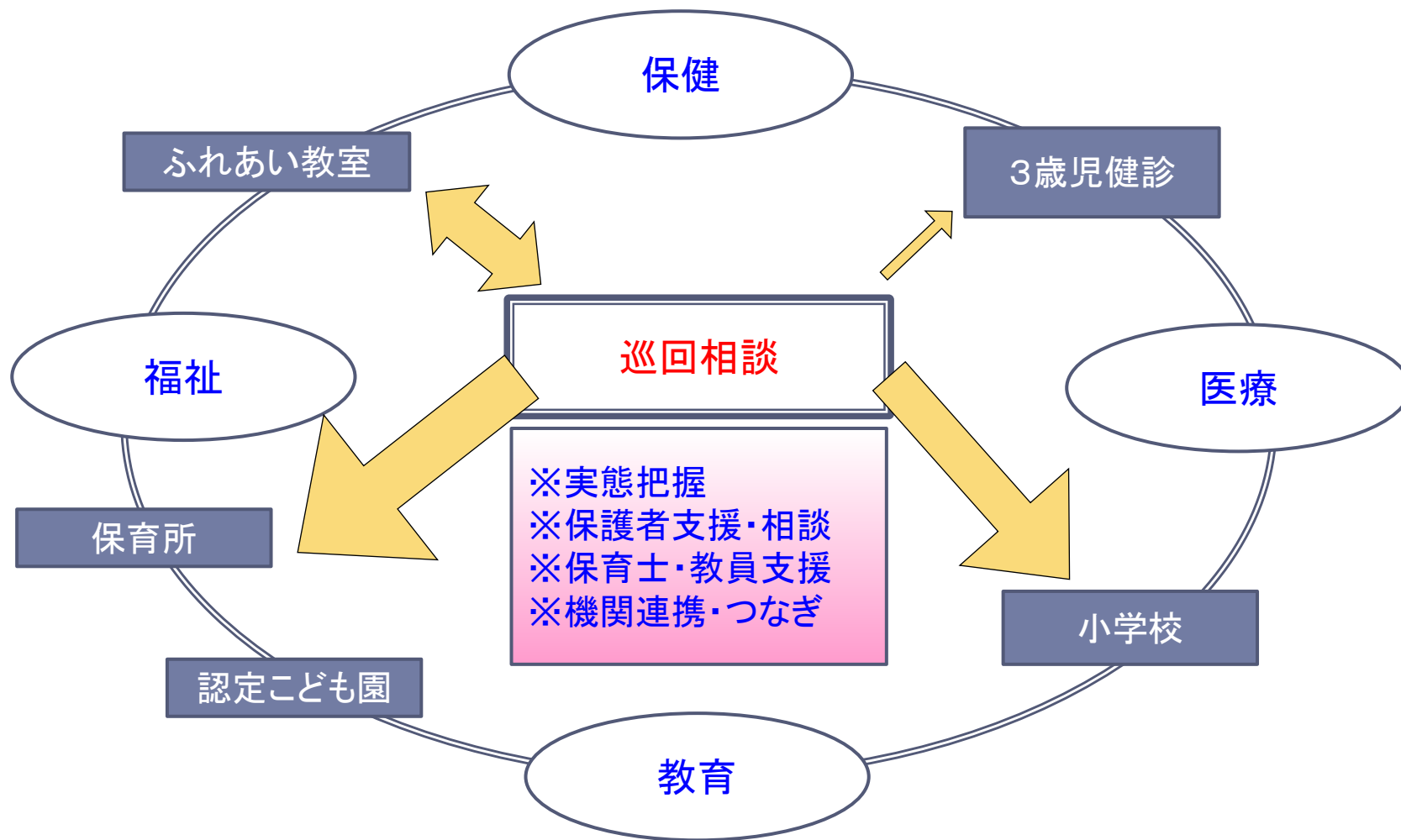
支援委員会

就学相談窓口設置

支援員配置

「巡回支援相談員」の役割

厚生労働省資料より



「巡回支援相談員」の配置構想

▶ 「巡回支援相談員」の配置(29h/w非常勤)

① R1年度 実態把握の年(6ヶ月)

- 1名配置(9月補正)
- 全保・小1の訪問

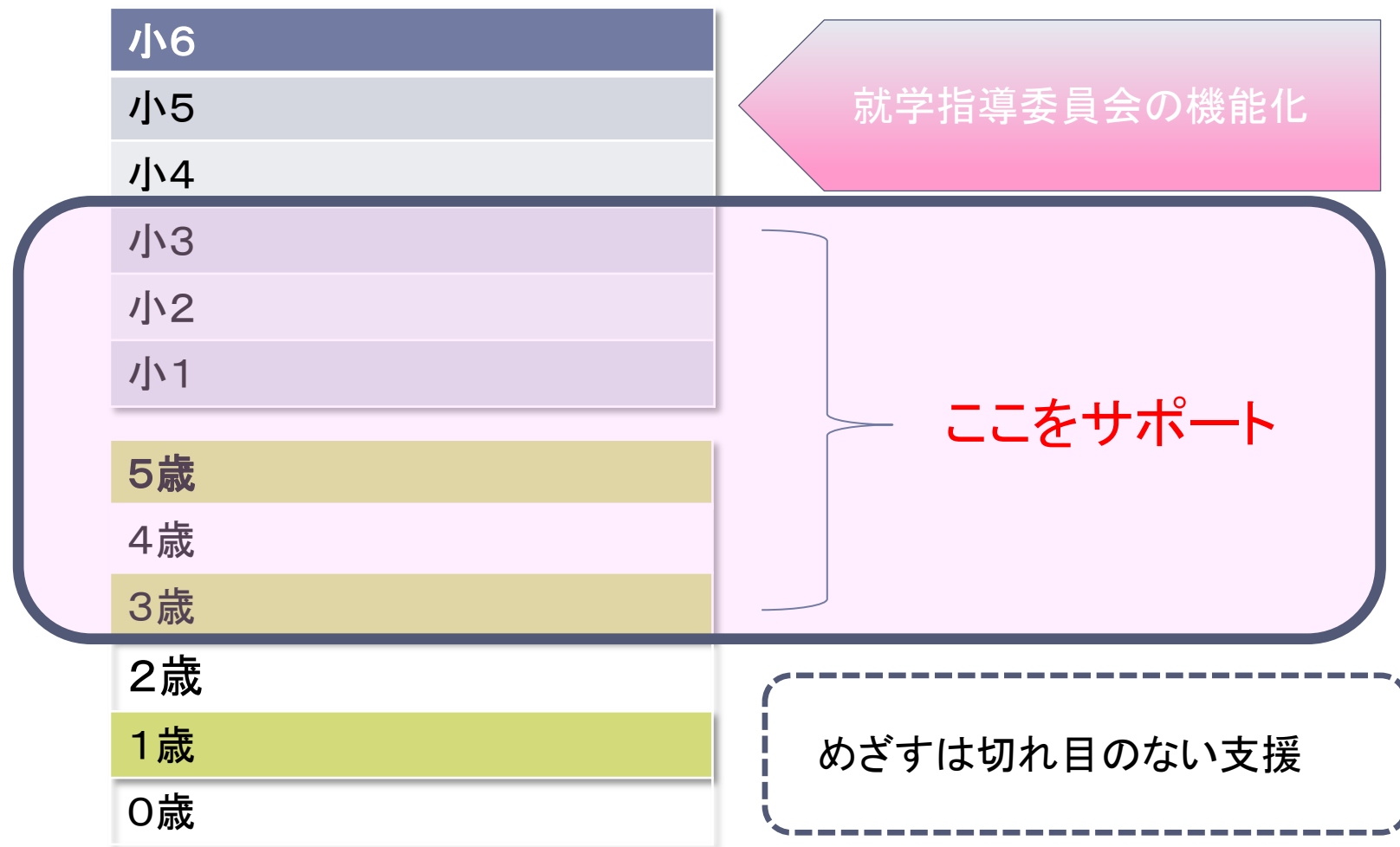
② R2年度 本格スタート

- 2名配置(新年度予算に計上)
- コーディネート機能も付加
- 西側地区保・小担当 1名
- 東側地区保・小担当 1名

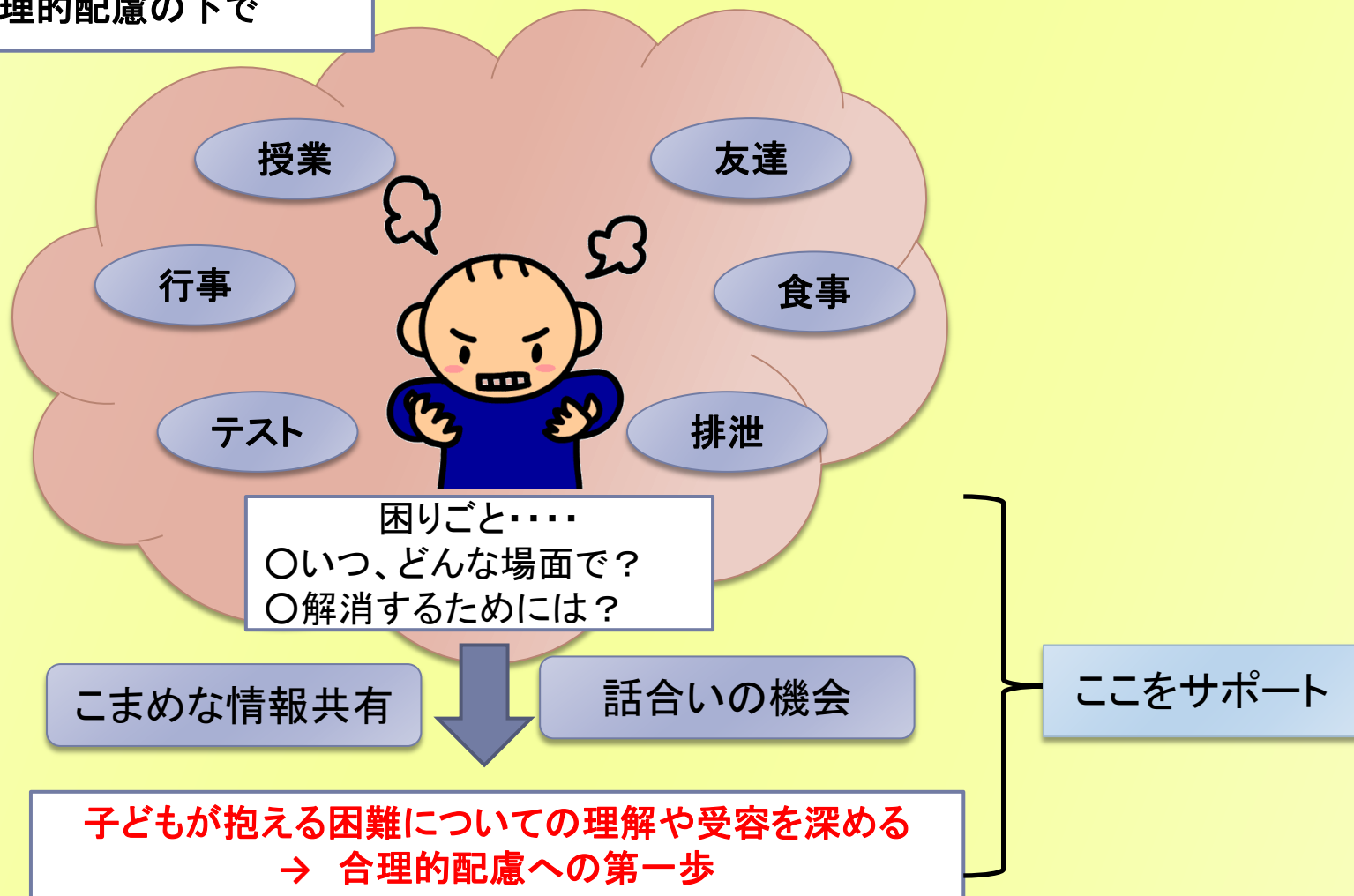
▶ 人材 気仙光陵支援学校退職教員を想定

▶ 財源 国補助金(予定)

「支える」 - 支援ターゲット(3歳～小3)



「支える」－ 合理的配慮の下で



「障害者差別解消法」(2016) → 可能な限り合理的配慮をすることが求められている

「支える」 - 事業推進上、大切になってくること

▶ 市民への周知

- 仕組み、相談窓口、連絡先 等

▶ チームでの支援

- 連携体制の構築

教育委員会(教育研究所)＋福祉部(こども未来課)

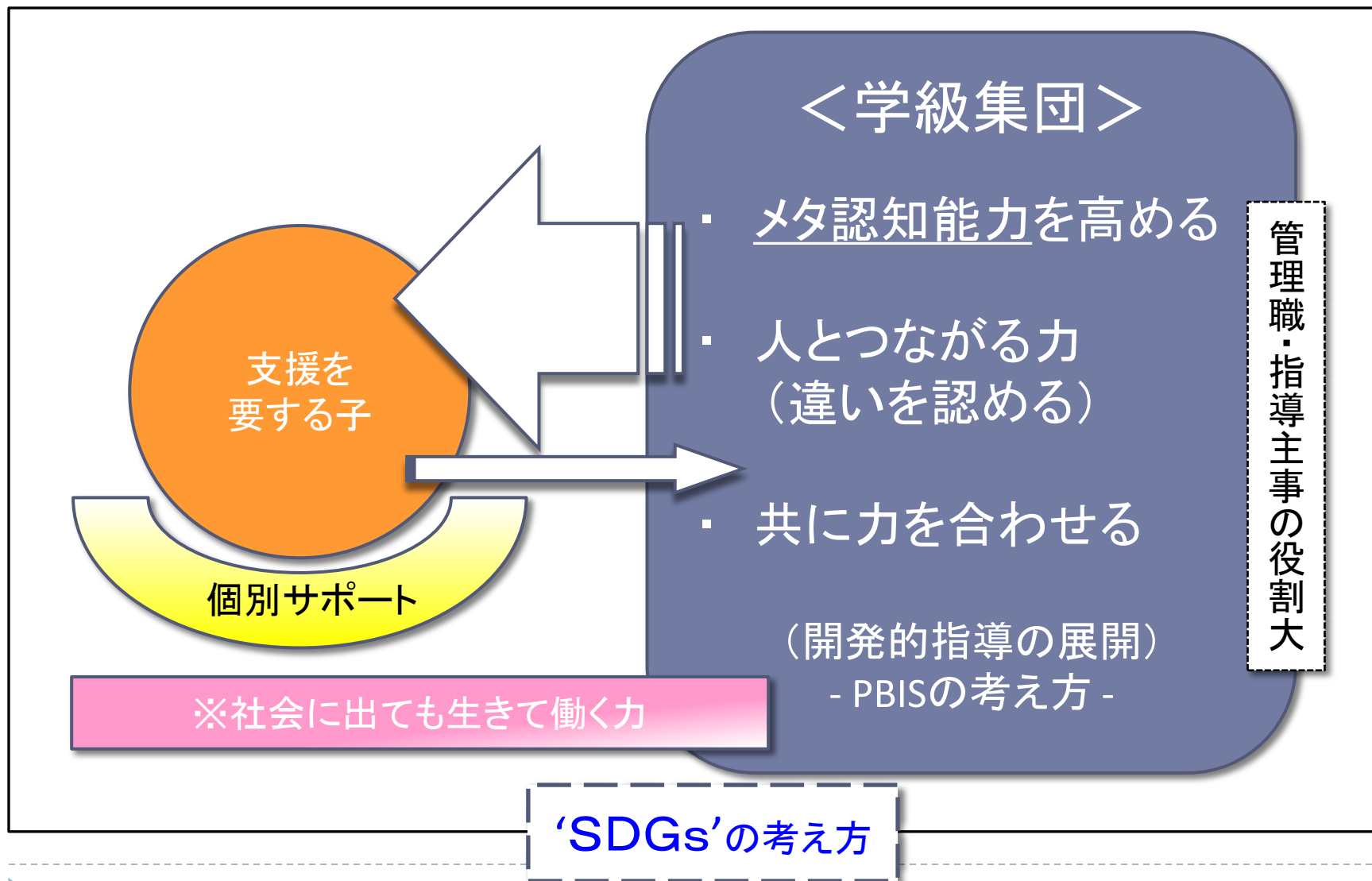
保育協会等、関係機関との連携

※ 例：教委・未来「月例会議」の設置(情報の共有)

※ ペアレントメンターの紹介等

※ 既存の取組を生かす方向で

「育てる」 - 育てたい力



「支える」 + 「育てる」 = 社会で生きる力へ

